

Trimble RealWorks Ver.12.1 アップデート一覧

入力と出力

1/4

項目	機能	機能概要
新機能	Trimble Clarityでプロジェクトを共有	ClarityにアップロードするTDZファイルを作成します。ホーム>シェア>Export Clarity File'と'Open Clarity'の順に選択します。
改良	TZF スキャンエクスポート (フィルタリング付き)	範囲 (最小最大距離)、反射強度、間隔でフィルタリングできます。グリッド化されたE57, RCPで動作します。
改良	特定のユーザー座標系を使用したRCPエクスポート	RCPフォーマットへのエクスポート時に使用する座標フレームを設定します。
改良	LAZ 1.4エクスポート	LAZ 1.4がサポートされ、最適化された圧縮によりLAS 1.4フォーマットにデータをエクスポートできるようになりました。また、LAS 1.4のクラスを含めることや、10億点以上のポイントをエクスポートできるなどのメリットもあります。
改良	E57 レベルドステーションのエクスポート	E57にエクスポートする際に、ステーションから傾きが取り除かれ、スキャンポイントに適用されて、ステーションのZ軸が垂直になるようになりました。これにより、水平なステーションを扱えない外部ソフトウェアとの互換性が確保されます。
新機能	CSVファイルから測量ネットワークを読み込み	測量ネットワークのファイルをインポートする際に、CSVファイルを使用できるようになりました。
新機能	ステーションの位置をCSVファイルに出力	ステーションの位置情報をCSVファイルに書き出せるようになりました。
改良	JXLインポート：オブジェクト指向ステーション	Trimble Accessで作成したオブジェクト指向のステーションをインポートできます。これらのステーションはオブジェクトを基準にしており、レベルリングの必要はありません。
改良	JXLインポート：縮尺係数に関連する動作改善	JXLファイルのコントロールポイントは、(0,0)を基準にしたアンスケールではなく、プロジェクトの重心を基準にしてアンスケールされるようになりました。これは、プロジェクトがJXLファイルに保存されている地上の座標に近い位置にあることを意味します。
改良	TZFスキャンからの抽出：範囲と反射強度によるフィルタリング	「サンプルスキャンの作成」、「インポートと登録」、「点の抽出」を使用する際に、抽出されたポイントを範囲と反射強度でフィルタリングできるようになりました。
改良	セグメント化：やり直し	セグメント化された個々の頂点を元に戻すには、CTRL-Zまたは取り消しボタンを使用します。

Trimble RealWorks Ver.12.1 アップデート一覧

アノテーション

2/4

項目	機能	機能概要
改良	アノテーション：ハイパーリンクを追加する機能	アノテーションツールでは、テキストの説明に1つまたは複数のハイパーリンクを含めることができるようになりました。
改良	アノテーション：検査マップでアノテーションをピック	3Dまたは2Dビューアでポイントを選択して、検査マップの特定の位置にアノテーションを作成できます。作成されたアノテーションの「2D検査距離」のフィールドに、その場所の検査マップの値が保存されます。 この操作は、ソフトウェアのさまざまな検査ツール（対面による検査、サーフェスからモデルを検査、壁の垂直性検査、床面検査、縦タンク検査（タンク底部評価））で作成された平面、円筒、トンネルなどのすべての検査マップに対して行うことができます。

検査

項目	機能	機能概要
改良	3D検査：最小最大の距離を使ったフィルタリング機能	3D検査のデータを作成する際に、最小範囲や最大距離を指定してフィルタリングすることができます。

イメージング

項目	機能	機能概要
改良	オルソ投影：ツール内で点群を分割する機能	レンダリングベースのオルソ写真計算機能を導入した際に削除した点群分割機能を復活させました。

モデリング

項目	機能	機能概要
改良	パイプ作成：改良	パイプモデルの四肢を、マニピュレーターを使って手動で修正できるようになり、T字型ジャンクションのモデリングをより効率的に編集できるようになりました。 キーボードショートカットを追加してエルボアの曲率の扱いを改善し、生産性を向上しました。

Trimble RealWorks Ver.12.1 アップデート一覧

修正項目

3/4

項目	機能	機能概要
修正	KMZ エクスポート	処理に失敗する件を改善しました。(バージョン12.0で導入)
	クラウドベースの登録	一部のケースでセグメンテーションを使用した後に発生するアプリケーションクラッシュを改善しました。
	セグメンテーション	特定の状況下で発生するアプリケーションクラッシュを改善しました。
	オルソ投影	一部のプロジェクトでオルソ画像の作成時にソフトウェアがフリーズする件を改善しました。
	E57 エクスポート	3D 検査クラウドを含んでエクスポートした際にアプリケーションがクラッシュする件を改善しました。
	3D 検査	サンプリングやセグメンテーションを使用する際の安定性を向上しました。
	ZFSインポート	補正パラメータが考慮されていない件を改善しました。
	ZFSインポート	一部のZFSファイルが正しくインポートされない件を改善しました。(バージョン12.0で導入)
	ターゲットアナライザー	TZFSキャンが天頂まで行かない場合にターゲット抽出に失敗する件を改善しました。
	トンネルの自動分類	一部のデータセットで不安定だった件を改善しました。(バージョン12.0で導入)
	DWGエクスポート	エクスポートされたラインセグメントの中央にある余分なポイントを削除しました。
	Trimble Identity (TID)	非ASCII文字を含む名前に関する問題を改善しました。
	特徴セット	ラベルが完全に表示されない、またはエクスポートされない件を改善しました。(バージョン12.0で導入)
	アノテーション	一部の非ASCII文字が表示されない件を改善しました。
	ライセンスマネージャ	サーバ名が編集できない件を改善しました。
開始ページ	4億点以上のポイントがある場合にプロジェクトサイズが間違っていた件を改善しました。	
自動分類	クラス名について最新のLAS1.4 (R14) 規格に準拠するように改善しました。	

Trimble RealWorks Ver.12.1 アップデート一覧

4/4

修正	ソフトウェアスタートアップ	一部のコンピューターで発生していた起動の問題を改善しました。(ZFS DLLに関連する問題)
		一部のコンピューターでRWPファイルをダブルクリックしてもソフトウェアが起動しない問題を改善しました。
		長時間の自動処理の間にアプリケーションクラッシュが発生する場合は改善しました。

2022年2月

株式会社ニコン・トリンブル